

# 基調講演への導入コメント



司会

石倉 洋子

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授

サマリー

基調講演と特別講演に先立ち、ひとつのデータをご紹介します。

Rank	科学者技術者	イノベーション政策	クラスター環境	リンクエージ	企業の戦略オペレーション
1	Finland	Singapore	Japan	United States	Germany
2	Iceland	Luxembourg	United States	Finland	Japan
3	Japan	Taiwan	Taiwan	Sweden	Denmark
4	Sweden	Finland	Finland	Taiwan	Israel
5	United States	Canada	Hong Kong	Japan	Finland
6	Norway	United Kingdom	United Kingdom	Israel	Switzerland
7	Singapore	United States	Korea	Singapore	Sweden
8	Switzerland	Malaysia	Singapore	Germany	United States
9	Russia	Australia	Denmark	Switzerland	Netherlands
10	Denmark	Ireland	Canada	Denmark	Belgium

Source: Unpublished data using the methodology described in Michael E. Porter and Scott Stern, "Ranking National Innovative Capacity: Findings from the National Innovative Capacity Index," Global Competitiveness Report 2003-2004.  
© 2004 Professor Michael E. Porter

これは国別のイノベーション能力を5つの指標で示した2004年版の図で、世界経済フォーラム (World Economic Forum) が毎年行っている国の競争力調査からのデータ (客観的指標とアンケート調査) から作成したもの。2004年版なので、実際のデータは2002年あたりのものだが、このシンポジウムを始めるにあたり、客観的データからという意図で紹介したい。

日本のランキングは、科学者技術指標 (Scientists & Engineers Index) をみるとかなり高いが、イノベーション政策 (Innovation Policy Index) ではトップ10にはいない。地域クラスター (Cluster Index) やリンクエージ (Linkages Index) では高く、企業の戦略やオペレーション指標 (Operations and Strategy Index) でも高い。そこで、基調講演への問題提起を2つしたい。

- 1) 2004年から現在までに、こうした状況はどれだけ変わったか
- 2) これは国別ランキングであり、イノベーションは国単位のシステムで奨励するものという考え方を前提としているが、現在問題となっている地球の温暖化、エネルギーなどの地球規模の課題に対して、日米はどんな取り組みをしているか。